

令和2年第7回
周防大島町教育委員会会議 議事録（要点筆記）

- 1 日 時
令和2年8月3日（月） 13時57分～16時58分
- 2 場 所
東和総合センター2F 研修室2
- 3 出席委員
西川教育長、中村委員、沖広委員、國行委員
- 4 事務局出席者
永田教育次長、木谷総務課長、辻田社会教育課長、青山学校教育課長、
中原総務班長
- 5 欠席者
長尾委員
- 6 傍聴者
なし
- 7 調整者書記
中原総務班長
- 8 議事録署名委員の決定
沖広委員及び國行委員
- 9 議題及び議事の概要、質問または討論をした者の職及び要旨

(1) 議案第1号 令和2年度（令和元年度事業）教育委員会に関する事務の点検・
評価報告書について

説明者：総務課長、学校教育課長、社会教育課長
質疑・意見等

(学校教育課関連)

(委員) 外国語教育は大変大事なことで、国際グローバル教育ということで今後教育を進めていかないといけないと思う。特に外国語教育が見直されて、今までは楽しい英語授業ということで進んでいたが、ある程度、学習の理解内容が増えてきたので、子供が中学校に行くまでに嫌いというようなことにならないようにと思ったが、子供自体は外国語教育をやっていって嫌いとかいう反応はあるのかという質疑。

(事務局) 今の外国語の授業が教科化になったことによる影響と捉えていかと思うが、これまで外国語活動については、なれ親しむというところから始まっているので、これが教科化になったからといって、突然、がちとした授業になっていないという印象を学校を回りながら英語の授業を見て感じている。本町はALT2名配置になっており、割と実践的な英会話、英語というところを重視して授業の中に取り入れて

おり、子供たちの様子を見ても、楽しんで英語の授業をやっているという印象を受けている。このたびの英語科になっても、子供たちに必要性を持たせしゃべりたくなるような場面設定をかなり強調して授業を仕組んでいる印象を受け、小学校、中学校とも、これまでの一方通行的な覚える英語というよりも、使う英語というような授業を仕組んでいただいているような印象を受けており、子供たちも楽しんでやっているというような印象を受ける。全部アンケートを取ったわけではないが、英語が楽しいというようなペリースクールの感想も感じている旨説明。

(委員) 児童生徒の体力面については、学年によって差がありマイナスがずっと令和元年度も出ているが、読書については読書習慣が身につけてきていると成果が挙げられているが、中学校は下がっているためこの評価についてと、それから、いじめの案件は町内でどれくらい上がっているかという質疑。

(事務局) 読書活動について、中学校は今回の調査によると、児童生徒質問紙の回答で若干下がっているところがあり、昨年度、今年度とも図書支援員の配置を進めている。魅力ある図書館づくりを通して、子供に読書活動をもっと進めてもらおうという取組みも進めており、中学校も読書の量が増え、読書に、図書に親しんでもらえるような支援をしていければと思っている。いじめについては、毎年、前期後期といじめや問題行動等の調査が県を通して国からある。いじめの定義が随分変わってきていることから、認知件数としては増えていると思うが、重大ないじめにつながるようなものというものは上がってきていない。学校もかなり危機感を持って対応しており、早期発見・早期対応が各学校で進められている印象を受けている。また、関係機関、SSWやスクールカウンセラーとも密に連携を担当が取っており、関係機関との連携も今のところうまくいっていると感じている旨説明。

(委員) あろは教室が通いにくかったのが通えるようになったのは、何が変わってきたのかという点と、もう一つ、見守り隊などで地域の方々も学校にすごく関心を持ってやっておられる。そうした中、それぞれ地域に学校便りを送っているが、見守り隊からカラーになったらうれしいなという声をよく聞かせてもらおう。そういうことができるのかどうか、ご検討いただきたいという質疑。

(事務局) あろは教室は今現在4名おり、昨年度ずっと続けて通り随分と前向きになった生徒がいるというふうに聞いている。なぜそのように続けて来れるようになったかはまだ分析ができていないが、長年、支援をしてくださる先生がそのノウハウを積み重ねられ、対応の仕方が柔軟になってきているのではないかと。支援をしてくださる先生が固定化さ

れて継続した支援ができているということも一つ大きな要因かなというふうに感じている。それと、あろは教室単独ではなく、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーが毎月1回、合同で情報交換会をしており、あろは教室だけの力ではなく、周りの支援等も組織としてチームとして対応ができているということも周防大島町としては支援体制の特色かなと感じている。その辺りをまた充実させていけるようにしていきたいと思っている。学校便りのカラー版については、最近写真をふんだんに使って見た目にも分かりやすい学校便りを各校が工夫してつくっているのが、コストの面もあるが、学校に働きかけて進めていきたいと思っている。すぐに実現できるかどうかは分からないが、情報が非常に喜ばれていることは伝えていこうと思っている旨説明。

(委員) 学校教育の中で特別支援の子供に対する関わり方はすごく必要で、学校教育の中では何かそういうプログラムも実際にやっているのかという質疑。

(事務局) 特別支援学級の子供には個別の指導計画があり、その子の特色に合った教育というのは充実させるようにしている。普通教室にいてちょっと手のかかる子供等は、保護者と連携を取りながら個別の支援計画という形で、小学校の成長段階、それから中学校につなげていき、さらにというふうに、計画的に系統的に指導ができるようには進めている旨説明。

(委員) 私がアスペルガーの子をお預かりしたときに、こっちのほうで学びを頂いた。そうしたその子への関わり方も含めて、みんなが学べるようなものを1年生が入るときとか、今度、4年生ぐらいからそういったことが顕著に現れてくるかなと。3年生ぐらいのときに、学校も含めて全ての者が学ぶという。指示の仕方であったり、声のかけ方であったり、そうした学びというのは、実は成人した後でもすごく大きな学びになる。家庭の中のおさまりにもなってくるので、そうしたものも何か委員で関わりが持てたらな、そうした事業をできたらなという意見。

(事務局) 今言われるのは、インクルーシブ教育の発想で取組みの大事な部分だと思う。山口県の施策もインクルーシブ教育を推進していくというのがあり、本町においても例えば道徳の時間であるとか学級活動の中で、一人一人の特性に合った対応の仕方まではいかないかもしれないが、その子を理解するという面では非常に人権教育にもつながる部分があると思うので、学校等へお願いしていけたらと思う旨説明。

(社会教育課関連)

(委員) 学校教育も含めてだが、昨年度末からいろんな講座や発表の機会が

失われており、今年度もまだ実施されていないところが随分あるかと思う。課題の中に、引き続きコロナの影響が出ているということで、今年度、コロナを考慮した課題のようなものが入ってきて、こういうふうに対応していくとか、何かそういった形が、学校教育のほうもイングリッシュキャンプやいろんなものがほとんど不可能に近い状態になっているので、KSなどもどういった形でその部分の課題を増やし、これだというのはコロナがこういう状態だからないとは思いますが、少し何か挙がってきていると、今年は去年とはちょっと違うなというような気がしたが、その辺りは難しいのかという質疑。

(事務局) 地域住民、各公民館長においても、それぞれ今年はどうするか本当に今悩んでおり、また、状況が日々変わっている中で、ようやく下火かなと思ったら、また感染者が増加するという状況となっていて、その対応については本当に苦慮している。旧4地区で統一的なことをしたいところではあるが、各地区でのやり方もあり、状況を見ながら今の段階ではいつから大丈夫だと言えないところではあるが、そういった状況を勘案しながらやるということでもいいという話にはならないが、機会というのは当然設ける必要があると考える。発表については、毎年7月に実施している大島地区の芸能文化の集いは中止。橘地区の11月に予定している生涯学習発表大会は中止の方向。また、スポーツの大会は、ビーチバレー大会や郡の陸上競技大会は中止となっている。年度末の大会も中止の方向で考えざるを得ない状況なのかなと思っており、逐一そういった状況を判断しながら、また、課題についてはそういった考慮も必要と思っている。人権については、昨年度は各地区で講座や大会を行っている。8月の人権教育研修会は今年度中止。また、人権教育推進委員会は例年、6月か7月に第1回目の委員会を行うところだが、書面による決議を行った。そのような状況で、今年度は第1回目の委員会を9月に開催予定としており、アンケートも取りながら、各地区での人権講座、また、例年、1月に行っている推進大会についても、はっきり決めてないが行う方向では考えており、9月に予定している委員会で協議することになると思う。例年、標語や絵画の募集も実施しているが、今年度は標語のみ募集することにした。小・中・高にお願いしており、啓発作品につきましては推進大会での発表を考えている旨説明。

(事務局) 学校教育で、中学校では中高連携の関係は新型コロナウイルスの感染防止対策により休業になった授業確保のため中止になることが大きな要因である。郷土大島、総合的な学習の中で学んだことを発表する機会や、イングリッシュキャンプも中止になっている。小学校では、当初、いろんな参観日自体中止という状況で今年度はスタートしてい

たが、徐々に新型コロナウイルスの関係が見えてくる中で参観日は開催する予定である。運動会については春の運動会を秋に回す。それから、体育祭も一応やる。短縮で午前中で終わるという工夫をしながら各学校取り組んでいただいている。修学旅行に関しても、小学校は県内が多いので、県内での修学旅行については時期を見ながら進めている。中学校も今のところ中止という連絡を受けてなく、場所を変えながらできる範囲の中でやっていく検討をいただいている。KS学習は時数確保で今までのように行けなかったが、2学期以降、浮島小学校はへき地・複式の指定を受けており来年度発表となっているので、その取組みも兼ねて、島中小学校とオンラインで一緒に授業をやってみようとか、直接会わないがICTを活用しての合同学習をこれからいろいろ研究してみようということを進めていただいている旨説明。

(委員) 社会教育施設の活用で、本町には他市町にはない宮本常一記念館や特色ある施設は大いに活用したらいいと思うが、分かれており利用されないところも一部あると思う。以前は共同チケットで割引をという話もお聞きしたが、例えば、高校生で宮本常一を研究して、特別に大学へ行ったお子さんがいたように思うが、子供の興味・関心でそこにいつでも行けるような状態はつくってあげるべきだと思っている。例えば、小学校3年生か4年生ぐらいのときに郷土学習で行くときに、中学校3年まで年間パスとかを与えてあげて、いつでも行けるよという形ができないのかなと思ったりする。子供の団体は割り引くかもしれないが、年間パスではないが中3までのパスとかいうような形にするとか、そのようなことを思うがいかがかという質疑。

(事務局) 共通ということは課題になると思うが、興味を持った子を対象にすぐ来てくれる体制というのは当然取らなくてはいけない。土曜日、祝日等も施設は開いている。社会教育施設連携協議会で協議をしたいと思う。なかなか難しいところではあるかと思うが、検討させてもらいたい旨説明。

(委員) 図書館の課題として延べ利用者が4,479人減少、1割より多い。貸出数も7万5,000と1万だから十数%減っている。これでおおむね計画どおりと言えるのかと必ず言われると思うので、課題の中に3月2日から学校が閉まったときに図書館の貸出しを止めた時期があることとか、あるいは途中から貸出しを制限してやったことがある。そのことを書いておかないと十数%減っているのに、それが「おおむね」いいのかと言われたときに答えられないので、そのことを付け足しておいて欲しいという意見。

(委員) 人権教育研修会の実施で、参加者が187人で、100ぐらい増え

たと書いてある。増えたのならおおむね計画どおりじゃなく計画どおりでいいので調整をお願いしたいという意見。

(総務課関連)

(委員) 質疑なし。

教育長 議案第1号について承認いただけますか。

委員 承認。

(2) 議案第2号 第2期周防大島町教育大綱の策定について

説明者：総務課長、学校教育課長、社会教育課長

質疑・意見等

(委員) 本年は感染症の影響や、去年は水道の断水といろいろあったが、教育基本方針のふるさとの誇りをもてる人づくり・地域づくりということで、本当に大切なところでないかなと改めて思う。それで、「心豊かでたくましく育つように、家庭や地域と学校の連携を強めて」というところに、何か一つ、自然に恵みに感謝しとか、豊かな自然に感謝だとか、そういうものが一つ入ると、ふるさとに誇りを持てると同時に、こういうことを通して教えられたことというのは、すごく学びの中では大きなことだと思う。何か取り組むという意味では、そんな文言も一つ入れていただければという意見。

(教育長) 「未来の周防大島町を担う子供たちが、豊かな自然に感謝し、心豊かでたくましく育つように」という形でも、ちょっと長くなるが入る。時間を置いて後でもう一度考える旨説明。

(委員) 生涯学習の講座で、公民館以外でやられている、地域でやられている自主的な講座は、お金を取ってやってもらっているが、これはそういう講座かという質疑。

(事務局) 公民館を中心とした施設での講座であるという旨説明。

(委員) コミュニティ・スクールの地域をあげて子供たちを助けるという動きは定着しつつあると思うが、私が思うに、PTA活動や子ども会活動が、かつてと比べてちょっと弱くなっているかもしれない。そういうのを道徳教育にしても人権教育にしても、学校教育の表面からやっていると効果があると思う。最近、風潮としてそういうのがあるなという意見。

(委員) 共稼ぎとかで大変なところもあるが、PTAの話の中でも難しい方はなかなかこういうところに出てきてくれないというのは、何かいい案があるのか、それとも地道にこつこつと小さいところで回っていく中に、何かまだ将来を見据えての何かあるのか、その辺がちょっとまだ分からないという意見。

(委員) 国際交流の推進で、語学留学はコロナ禍で令和3年はちょっと難しい

かもしれないという意見。

(事務局) 国際交流支援員で、今年度から学校教育課へALTと教員の仲立が大きな役割ということと、国際交流に関して町内でのいろんな業務に当たるというような形で一人職員が来ている旨説明。

(教育長) 1ページの教育の基本方針のところでご意見をいただいております、修正ができたらと思うが、「子供たちが豊かな自然や文化に親しみ、心豊かでたくましく育つように」でよろしいですか。

(委員) 異議なし。

教育長 議案第2号について承認いただけますか。

委員 承認。

教育長 第2期周防大島町教育大綱の策定については、町長主催の周防大島町総合教育会議において、教育委員会と協議を行った上で定めるものとなるので、今後開催予定の周防大島町総合教育会議へ協議事項として提出することとします。

(3) 議案第3号 周防大島町中学校教科書の採択について

* 周防大島町教育委員会会議規則第13条により秘密会とする。

教育長 議案第2号について承認いただけますか。

委員 承認

(4) 報告第1号 周防大島町公民館条例の一部改正について

説明者：社会教育課長

質疑・意見等

特になし

(5) 報告第2号 周防大島町学校給食食材生産団体支援金支給要綱の制定について

説明者：総務課長

質疑・意見等

(委員) 野菜以外の牛乳やパンへの支援はあるのかという質疑。

(事務局) 牛乳、パンについては、文部科学省が全国給食会を通じ町に補助金を出し、違約金という形で牛乳のキャンセル料、パンの加工賃について関係業者に支払う制度がある旨説明。

(6) 報告第3号 周防大島中学校の校章等について

説明者：総務課長

質疑・意見等

(委員) 久賀中学校の2年生の作品で大変いい。応募に当たって、中学校が頑張っている。個人の応募だが久賀中学校からたくさん応募したのかという質疑。

(事務局) 久賀中学校、東和中学校、安下庄中学校からも応募があった。強制ではなかったと思うが、美術科の授業の中で指導をしたという話を聞いており3校からそれなりの数が出ている。全国各地から、岩手、京都の方からも応募があった旨説明。

(7) 報告第4号 周防大島町スクールバス条例の一部改正について

説明者：総務課長

質疑・意見等

特になし

10 議決事項

議案番号	内 容	議決結果	議決日
議案第1号	令和2年度（令和元年度事業）教育委員会に関する事務の点検・評価報告書について	承認	令和2年8月3日
議案第2号	第2期周防大島町教育大綱の策定について	承認	令和2年8月3日
議案第3号	周防大島町中学校教科書の採択について	承認	令和2年8月3日

(教育長) 以上で、教育委員会を閉会します。